



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月11日

上場会社名 竹田印刷株式会社 上場取引所名  
 コード番号 7875 URL <http://www.takeda-prn.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 山本 真一  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営統括本部長 (氏名) 井川 誠 TEL (052)871-6351  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	7,808	△10.4	84	—	91	—	17	—
22年3月期第1四半期	8,711	△12.4	△62	—	△79	—	△117	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	2 19	—
22年3月期第1四半期	△14 46	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	29,567	13,488	45.3	1,646 84
22年3月期	29,810	13,574	45.2	1,658 01

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 13,398百万円 22年3月期 13,488百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7 00	—	7 00	14 00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	7 00	—	8 00	15 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	16,400 △6.7	80 —	70 —	30 —	3 69
通期	34,600 △1.9	400 —	380 675.5	200 —	24 58

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

#### 4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	8,781,000株	22年3月期	8,781,000株
23年3月期1Q	645,373株	22年3月期	645,373株
23年3月期1Q	8,135,627株	22年3月期1Q	8,135,627株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

#### (注意事項)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、一部に景気の底打ち感が見られたものの、デフレの進行や失業率の悪化に加え欧州の財政問題が波紋を拡げるなど先行きの不透明感が強く、国内の景況に顕著な改善は見られませんでした。

印刷業界においても、紙媒体のデジタル化に伴う印刷市場の縮小が進む中、同業者間の激しい受注競争が続くとともに、お客様の広告宣伝費抑制に伴う印刷需要の縮小傾向も継続しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、お客様の広告宣伝や販売促進、あるいは広報やIRなどさまざまなコミュニケーション・ニーズに対して、適切な解決策をご提供するソリューション活動を展開して一層の市場開拓、市場深耕を進めるほか、関東地区でのシェア拡大に向けた営業力強化を図ってまいりました。また改善活動等を通じた生産性の向上や固定費削減に取り組み、コスト競争力の強化を進めて受注拡大を図ってまいりました。

しかしながら、印刷セグメントにおける受注単価の低迷、物販セグメントにおける印刷機材類の販売低迷から抜け出すことができず、当第1四半期連結会計期間の売上高は78億8百万円（前年同四半期比10.4%減）となりました。その一方で従前より取り組んでまいりましたコストダウン活動によって製造固定費、販売管理費等の削減を行ったことにより、営業利益は84百万円（前年同四半期は62百万円の営業損失）、経常利益は91百万円（前年同四半期は79百万円の経常損失）、四半期純利益は17百万円（前年同四半期は1億17百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の状況につきましては、以下のとおりです。

【印刷セグメント】お客様のコスト削減活動の強化に伴う印刷物の受注量の減少、受注単価の低迷の影響を受けたため、新規顧客の開拓は進んでいるものの、印刷セグメントの売上高は52億97百万円（前年同四半期比12.0%減）となりました。営業利益は、製造固定費、販売管理費の削減が進んだことにより、88百万円（前年同四半期は10百万円の営業損失）となりました。

【物販セグメント】販売先である印刷業界の継続的な業績不振の影響で印刷関連機材類の販売が落込み、物販セグメントの売上高は26億78百万円（前年同四半期比8.0%減）となりました。営業損失は13百万円（前年同四半期は営業損失56百万円）と販管費の削減に取り組んだことなどにより前年同期比では損失幅は縮小したものの、黒字化には至りませんでした。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の資産合計は、現金及び預金の増加などに対し受取手形及び売掛金の減少などの減少要因が大きかったため、前連結会計年度末に比べ2億43百万円減少して295億67百万円となりました。負債合計は、資産除去債務の計上による増加などに対し支払手形及び買掛金の減少などがあったため、前連結会計年度末に比べ1億57百万円減少して160億78百万円となりました。純資産合計は、85百万円減少して134億88百万円となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少11億43百万円などにより9億24百万円の収入（前年同四半期は8億88百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入1億円、固定資産の取得による支出69百万円などにより、37百万円の収入（前年同四半期は92百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払56百万円、長期借入金と短期借入金を合わせての純減少1億20百万円などにより、1億96百万円の支出（前年同四半期は3億64百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7億65百万円増加し、38億17百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月14日発表の数値から変更はありません。業績見通しは、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって変動する場合があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率は、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化が無いと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ② 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計年度末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

#### ③ 税金費用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ① 「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号平成20年3月10日）を適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

#### ② 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、売上総利益、営業利益、経常利益が各々2百万円減少し、税金等調整前四半期純利益が19百万円減少しております。

#### ③ 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,337,624	3,668,828
受取手形及び売掛金	8,399,131	9,550,912
商品及び製品	798,690	791,969
仕掛品	475,221	285,953
原材料及び貯蔵品	133,901	116,141
繰延税金資産	426,485	426,485
その他	532,674	460,141
貸倒引当金	△193,429	△211,940
流動資産合計	14,910,298	15,088,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,648,786	4,573,344
機械装置及び運搬具(純額)	972,841	1,028,074
土地	5,481,031	5,481,031
リース資産(純額)	310,023	301,108
その他(純額)	154,212	159,418
有形固定資産合計	11,566,895	11,542,976
無形固定資産	274,999	284,250
投資その他の資産		
投資有価証券	1,209,866	1,315,177
繰延税金資産	778,682	745,558
その他	1,613,589	1,614,804
貸倒引当金	△787,256	△781,132
投資その他の資産合計	2,814,880	2,894,408
固定資産合計	14,656,776	14,721,636
資産合計	29,567,074	29,810,128

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,353,315	6,626,310
短期借入金	2,057,495	2,096,350
1年内返済予定の長期借入金	794,516	1,050,477
リース債務	77,833	71,976
未払法人税等	50,885	9,364
賞与引当金	569,925	376,092
その他の引当金	12,652	11,800
その他	742,036	1,002,067
流動負債合計	10,658,659	11,244,438
固定負債		
長期借入金	2,744,087	2,569,427
リース債務	262,596	258,817
長期末払金	420,656	328,973
退職給付引当金	1,762,761	1,766,641
資産除去債務	165,700	—
その他	64,089	67,356
固定負債合計	5,419,891	4,991,215
負債合計	16,078,551	16,235,653
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,937,920	1,937,920
資本剰余金	1,793,446	1,793,446
利益剰余金	10,053,095	10,092,211
自己株式	△497,086	△497,086
株主資本合計	13,287,376	13,326,492
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	110,702	162,470
評価・換算差額等合計	110,702	162,470
少数株主持分	90,443	85,511
純資産合計	13,488,523	13,574,474
負債純資産合計	29,567,074	29,810,128

## (2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	8,711,659	7,808,923
売上原価	7,214,911	6,345,170
売上総利益	1,496,747	1,463,752
割賦販売未実現利益戻入額	8,648	1,590
割賦販売未実現利益繰入額	9,132	—
差引売上総利益	1,496,264	1,465,343
販売費及び一般管理費	1,558,422	1,380,832
営業利益又は営業損失(△)	△62,157	84,510
営業外収益		
受取配当金	9,153	10,344
受取賃貸料	6,829	4,295
受取保険金	—	16,675
その他	11,745	9,120
営業外収益合計	27,729	40,436
営業外費用		
支払利息	27,578	25,093
その他	17,245	8,036
営業外費用合計	44,823	33,129
経常利益又は経常損失(△)	△79,252	91,817
特別利益		
固定資産売却益	717	78
貸倒引当金戻入額	22,912	20,615
その他	529	1,400
特別利益合計	24,159	22,094
特別損失		
固定資産処分損	3,078	7,576
投資有価証券評価損	4,999	16,080
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	17,624
その他	73,738	1,595
特別損失合計	81,816	42,876
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△136,908	71,035
法人税等	△24,308	47,970
少数株主損益調整前四半期純利益	—	23,065
少数株主利益	5,120	5,232
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△117,720	17,833



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△136,908	71,035
減価償却費	216,047	201,246
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	17,624
貸倒引当金の増減額(△は減少)	33,150	△12,386
賞与引当金の増減額(△は減少)	212,483	193,832
退職給付引当金の増減額(△は減少)	71,997	△3,880
受取利息及び受取配当金	△11,508	△12,859
支払利息	27,578	25,093
為替差損益(△は益)	42	300
投資有価証券評価損益(△は益)	4,999	16,080
固定資産売却損益(△は益)	2,360	7,497
売上債権の増減額(△は増加)	1,166,269	1,143,852
たな卸資産の増減額(△は増加)	△48,862	△215,194
仕入債務の増減額(△は減少)	△294,898	△277,925
未払消費税等の増減額(△は減少)	△61,630	50,098
その他	△188,985	△246,271
小計	992,134	958,142
利息及び配当金の受取額	11,452	12,803
利息の支払額	△27,456	△25,093
法人税等の支払額	△87,850	△20,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	888,278	924,853
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15,943	△6,441
定期預金の払戻による収入	45,500	100,000
固定資産の取得による支出	△126,926	△69,685
固定資産の売却による収入	2,924	601
投資有価証券の取得による支出	△2,658	△2,345
長期貸付けによる支出	△600	△5,800
貸付金の回収による収入	2,183	2,412
その他	3,154	18,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△92,365	37,470
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,029	△38,854
リース債務の返済による支出	△10,895	△19,263
長期借入れによる収入	—	250,000
長期借入金の返済による支出	△154,572	△331,301
配当金の支払額	△48,813	△56,949
少数株主への配当金の支払額	△570	△300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△364,881	△196,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	△300
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	430,989	765,354
現金及び現金同等物の期首残高	2,677,703	3,051,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,108,693	3,817,071

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

(単位;千円)

	印刷	物販	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	6,015,171	2,696,487	8,711,659	—	8,711,659
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,124	216,787	218,912	(218,912)	—
計	6,017,296	2,913,275	8,930,572	(218,912)	8,711,659
営業損失(△)	△10,818	△56,489	△67,308	5,150	△62,157

(注) 1 事業の区分は、製商品の種類・性質の類似性に基づき、印刷と物販に区分しております。

2 各事業の主な事業内容

(1) 印刷……商業印刷・出版印刷・一般印刷・包装その他特殊印刷・企画制作

(2) 物販……印刷機器・資材及び雑貨の販売

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間---在外連結子会社及び在外支店が無い為、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間---海外売上高は、連結売上高の10%未満の為、その記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、印刷事業、並びに印刷機材・印刷資材の仕入・販売を主な事業の内容としていることから、「印刷」、「物販」の2つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品・商品は、「印刷」セグメントは商業印刷物・出版印刷物・一般印刷物・包装その他特殊印刷物及び印刷物の企画制作であり、「物販」セグメントは印刷機材・印刷資材及び雑貨であります。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

(単位;千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販	計		
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,296,214	2,512,709	7,808,923	—	7,808,923
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,618	166,094	167,712	(167,712)	—
計	5,297,833	2,678,803	7,976,636	(167,712)	7,808,923
セグメント利益 又は損失(△)	88,311	△13,537	74,774	9,736	84,510

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。